

目 次

第1章 序論	1
第2章 水試料	3
2.1 試薬、器具および装置	3
2.2 分析操作	5
第3章 灰試料	8
3.1 試薬、器具および装置	8
3.2 分析操作	9
第4章 土試料	12
4.1 試薬、器具および装置	12
4.2 分析操作	14
第5章 降下物	17
5.1 試薬、器具および装置	17
5.2 分析操作	19
第6章 大気浮遊じん	23
6.1 試薬、器具および装置	23
6.2 分析操作	25
第7章 焼結プルトニウムを含む環境試料	28
7.1 試薬、器具および装置	28
7.2 分析操作	30
第8章 電着方法	33
8.1 試薬、器具および装置	33
8.2 電着操作	36
8.3 再電着操作	37
第9章 放射能測定	39
9.1 計測装置	39
9.2 測定	42
9.3 計算	43

第10章 試薬の調製	5 0
10. 1 放射能標準溶液	5 0
10. 2 試薬	5 0
10. 3 陰イオン交換樹脂カラムの調製	5 3
(解説)	
〔解説・1〕 土壌試料の酸浸出法によるプルトニウムの 抽出率について	5 4
〔解説・2〕 土壌試料の加熱温度とプルトニウムの抽出率	5 6
〔解説・3〕 電着方法について	5 7
〔解説・4〕 測定時における安定元素および放射性核種の影響	5 8
〔解説・5〕 本分析法におけるTh、Uの除染係数	5 9
(付録)	
〔付録・1〕 プルトニウム同位体の核データ	6 0
〔付録・2〕 クロスチェックの結果	6 1
〔付録・3〕 環境におけるプルトニウムのバックグラウンドレベル	6 3
〔付録・4〕 プルトニウム分析法の流れ図	6 4
〔付録・5〕 参考文献	7 1

